

SANGITAN

Guidebook 2025



山形県立産業技術短期大学校

ACCESS



山形県立産業技術短期大学校

〒990-2473 山形県山形市松栄2丁目2-1

TEL: 023-643-8431 FAX: 023-643-8687

Email: nyushi@yamagata-cit.ac.jp

産技短ホームページ

www.yamagata-cit.ac.jp



産技短 YouTube チャンネル



産技短 X (旧 Twitter)



教育研究振興会ホームページ

www.y-cit-shinkokai.jp



YAMAGATA COLLEGE OF
INDUSTRY & TECHNOLOGY

技術が広げる未来への可能性

「ものづくり」を究めた
機械エンジニアを
目指す

デジタルエンジニアリング科 ▶ P.8

未来社会を支える
情報技術者へ

情報システム科 ▶ P.18

IoT×AIで
新しい社会を
創る技術者へ

知能電子システム科 ▶ P.14

SFの世界を実現する
テクノロジーを学ぶ

メカトロニクス科 ▶ P.10

「ふるさと」と
「人々の暮らし」を支える
土木技術者になる

土木エンジニアリング科 ▶ P.26

地球にやさしい
建物をつくる
技術者になる

建築環境システム科 ▶ P.22

「ものづくり」
「人づくり」、
そして「地域づくり」



郷土の未来を「技術」で支える、そんな頼りがいのある技術者を育てる学校、それが産技短です。山形県伝統の「ものづくり」、新しい情報社会を担うIoT×AI、環境を考え人々の暮らしを支える建物や社会基盤の創造、さまざまな角度から地域未来のつくり手を育成します。

最先端の教育機器を用いた、実務経験豊かな教員による少人数教育と実践教育が本学の特徴です。課題解決力やイノベーション力など「人間力」の向上にも力を入れています。このような環境で育った卒業生は、開校以来30年間で2,900人を超え、多くは地元産業界で活躍しています。

皆さんも持続可能な社会の実現に向けて、人々の、そして皆さん自身のよりよい生活の実現に向けて、私たちと共に歩み出してみませんか。

山形県立産業技術短期大学校
校長 佐藤俊一

アドミッション・ポリシー【入学者受け入れ方針】

Admission Policy

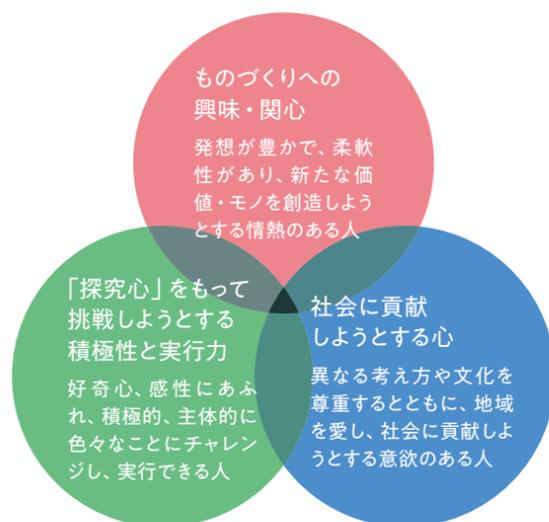
【基本理念】

産業構造の高度化、多様化、さらには情報化に対応する豊かな感性と創造性を備えた実践技術者を育成確保し、本県の技術力の向上と産業界の振興に貢献する

【三本の柱】

- 1 地域産業に密着した人材育成機関とする
- 2 開かれた短期大学校とする
- 3 地域産業の技術開発に貢献する

【求める学生像】



産技短の歴史 History

平成 4 年 10 月	全国初の職業能力開発促進法に基づく県立職業能力開発短期大学校として、山形県立産業技術短期大学校の設置が労働大臣により認可
平成 5 年 4 月	山形県立産業技術短期大学校が開校(メカトロニクス科・情報制御システム科・情報管理システム科・建築環境システム科 4 学科)
平成 7 年 3 月	第一期生卒業
平成 9 年 4 月	山形県立産業技術短期大学校庄内校が開校
平成 9 年 10 月	米国コロラド州プエブロ・コミュニティ・カレッジと姉妹校締結
平成 15 年 4 月	産業情報専攻科設置
平成 22 年 4 月	4 学科から 5 学科へ学科改編(デジタルエンジニアリング科の新設及び情報 2 科の改編)
	産業情報専攻科から産業技術専攻科へ学科改編
平成 29 年 4 月	5 学科から 6 学科へ学科改編(土木エンジニアリング科の新設)
令和 5 年 3 月	構造改革特別区域計画が認定され、山形大学工学部への編入学が可能となる

私達は「産技短」を応援しています

私達、教育研究振興会会員企業(会員企業約 400 社)は「産技短」を応援しています。是非、皆さんも「産技短」で大いに勉強し、将来私達の企業に来て、それぞれの専門知識、技術を大いに活かしてください。皆さんの先輩と共に、心よりお待ちしております。

山形県立産業技術短期大学校
教育研究振興会
会長 後藤 完司
(山形建設株式会社 代表取締役 会長)



学科構成 Department composition	機械システム系 デジタルエンジニアリング科 定員：10名 ■ 3次元CADを駆使した設計・ものづくりに興味のある人 ■ 精密機械加工技術を身に付けたい人 ■ 金型を作って製品づくりを試してみたい人 P.08～	メカトロニクス科 定員：20名 ■ ロボットやメカニズムに関心のある人 ■ 機械・電子や情報技術に広く興味のある人 ■ プログラムで機械を動かしてみたい人 P.10～	知能電子システム科 定員：30名 ■ エレクトロニクス・ソフトウェアに興味のある人 ■ IoT・クラウド・AIに興味のある人 ■ IoTのシステム設計やプログラミングを学びたい人 ■ 信号・画像処理や計測制御技術を学びたい人 P.14～
	情報システム科 定員：20名 ■ システム開発に興味のある人 ■ ネットワークや情報セキュリティ技術を学びたい人 ■ プログラミングなどのソフトウェア開発技術を身に付けたい人 ■ データサイエンスやAIなどに興味がある人 P.18～	建築環境システム科 定員：20名 ■ 建築や住宅に興味のある人 ■ 建築の設備に興味のある人 ■ 環境やエネルギー分野に興味のある人 ■ 3次元CADに興味のある人 P.22～	土木エンジニアリング科 定員：20名 ■ 社会基盤に興味のある人 ■ 地図に残る大きい仕事に興味のある人 ■ 自然災害からみんなを守りたい人 ■ 社会基盤の設計、施工管理の技術を学びたい人 P.26～



Campus map

最先端の機器を備えた実験研究棟や実習棟をはじめ
スポーツ施設から学生寮まで、様々な活動で利用できる施設が整っています。
充実した環境と開放感あふれるキャンパスで実りある
キャンパスライフを満喫しましょう。



B 図書館

蔵書 29,000 冊以上。専門書・雑誌が豊富に揃い、卒業研究やレポート作成に励む学生の姿が見られます。学内のパソコンで必要な図書が検索可能です。また、山形県立図書館などとの相互貸借が可能で、学外の方も利用できます。



A 大講義室

250 人を収容でき、県内教育施設としては最大規模の大型スクリーンやオンライン配信設備などが設置され、大人数の講義や講演会に対応します。



C 学生食堂

日替わり定食、麺類、カレーなど、豊富なメニューを安価で食べることができます。学外の方も利用できます。



D 実験研究棟

各学科の実験室・実習室のほか、ゼミ室や教員の研究室が配置されており、展示スペースや休憩ホールもあります。



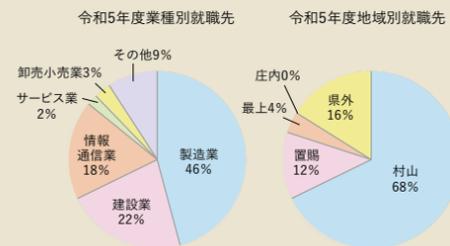
E 広場

勉強の合間や昼休み時間などにくつろぐことができます。

[産技短の特徴]

1 就職率はほぼ 100% 県内優良企業への就職を実現

就職ガイダンス、就活ワークショップの実施のほか、県内外優良企業約 400 社からなる本校の支援団体である教育研究振興会が主催する企業説明会など、万全のサポート体制をとっています。就職率はほぼ 100% で、県内優良企業への就職を実現しています。



2 安価な学費と充実した支援制度 学生寮、学生食堂を完備

●初年度納入金 ※令和 6 年 4 月現在

入学科	授業料	合計
14 万円	39 万円	53 万円

充実した支援制度

1. 一定の条件(成績及び家族の収入)により、授業料が全額、半額や一部免除されます。
2. 厚生労働省が所管する奨学金制度もあります。

学生寮

遠隔地に自宅のある学生のために敷地内に学生寮があり、安い寮費で利用できます。(個室・wi-fi 完備)

【食事】月～木: 朝夕食 金: 朝食
【寮費】月額 36,900 円

〈他大学などとの初年度納入金比較〉

私立大学工学部	約161万円	こんなに違う!
国立大学工学部	約82万円	

〈初年度必要経費の概算(令和 6 年 4 月現在)〉

上記のほかに、教科書、製図用具・作業着等、8 万 5 千円から 12 万 5 千円程度の必要経費がかかります。金額は学科によって異なります。

学生食堂

日替わり定食、カレーライス、ラーメン、うどん、そばなど、季節のメニューがそろっています。格安弁当の提供もあります。

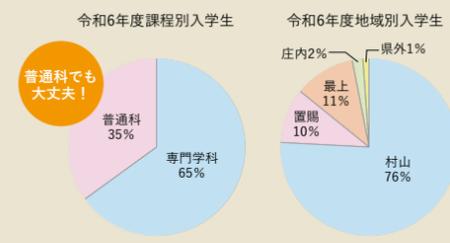
3 最先端の機器と実務経験豊かな教職員を配置

数々の最新の教育機器が備えられ、工学系の学校としては、四年制大学にも引けをとらない、3D スキャナーやドローンなどの最先端の実習機器をそろえています。また、3次元 CAD などは 1 人 1 台となっています。企業が

使用しているものと同じ機器をマスターすることで、即戦力の技術者となることが可能です。実務経験豊かな教職員が、実践的な教育により人材を育成しています。資格取得などの支援も行っています。

4 きめ細かな指導が受けられる少人数での授業体制で、普通科出身者も専門能力を新たに習得可能

教員 1 人に学生 6~7 人と、少人数で指導を受けることができる体制で、一人一人の個性と能力を伸ばしています。ものづくりに携わる仕事に就きたい思いがあれば、工業系だけでなく普通科出身者も専門的な知識やスキルを習得し、県内企業へ就職した後、技術者として活躍しています。



- 土木エンジニアリング科
- F 土木実験実習棟
- G 土木教室棟

山形大学工学部(関連学科)への編入が可能です。(要受験)

(土木エンジニアリング科を除く)



Digital Engineering Course

機械システム系
デジタルエンジニアリング科
Digital Engineering Course

「ものづくり」を究めた機械エンジニアを目指す
 私たちの身の回りにはスマートフォンやゲーム機は金型を使って大量生産されていますが、新製品のデザインはより複雑になり、モデルチェンジの期間はさらに短くなってきています。デジタルエンジニアリングとは、ものづくりの技術を数値化し、コンピュータの活用によって、作り出すものの価値や品質を最大化、あるいはコストや期間を最小化するという意味の言葉です。デジタルエンジニアリング科では、機械工学の技術が凝縮されている金型を教材として、3次元CADを駆使した設計やNC工作機械用の自動プログラミング(CAM)、試作回数を少なくするためのシミュレーション(CAE)、3Dスキャナーによる最先端の計測技術(CAT)などを習得することで、生産現場で活躍できるハイレベルな実践技術者を目指すことができます。

デジタルエンジニアリング科の学び

デジタルエンジニアリング科では、1年次の機械システム系基礎科目により、ものづくりの基礎をメカトロニクス科と共に学習します。2年次前半からはデジタルエンジニアリング科履修科目により金型製作を通してものづくりに必要となる専門知識と経験を養います。実習では、学生のアイデアを製品企画に採用して、設計・加工・組立て・製造におけるコンピュータを活用したデジタルエンジニアリング技術を習得します。これまで名刺入れや風鈴などを製作しました。また、2年次後半からは卒業研究によって、さらに高度な専門技術を深め、ものづくり企業で活躍できる実践技術者を目指します。

機械システム系共通科目		デジタルエンジニアリング科履修科目	
専門学科学目 材料工学 パワーエレクトロニクス 材料力学 機械加工学 電気工学概論 機械運動学 数値制御 制御工学概論 機構学 油圧機器 情報工学概論 機械設計 工業力学 安全衛生工学 基礎製図 生産工学 機械設計II 産業技術論 産業人材育成論		卒業研究 プレス加工 金型設計 モールド加工 熱流体工学 CAE 特論 測定法 学生金型グランプリへの挑戦 (銀賞受賞)	
実験実習科目 機械工学実験 プログラム言語 機械工作実習I シーケンス制御実習 機械工作実習II 基礎工学実験 設計製図実習 安全衛生作業法 CAD/CAE実習 ゼミナール 電気工学基礎実験 企業実習		実験実習科目 射出成形加工実習 プレス加工実習 金型加工実習 CAD/CAM実習 金型設計実習 プレス加工によるぐい呑みの製作	

- 【取得可能な資格】**
- 【技能照査により学科試験免除になる資格】**
 機械加工技能士/仕上げ技能士
 切削工具研削技能士/機械検査技能士
 機械保全技能士/機械・プラント製図技能士
- 【在学中に取得実績のある資格】**
 機械加工技能士(普通旋盤、数値制御旋盤、フライス盤、数値制御フライス盤、マシニングセンター)/放電加工技能士/機械検査技能士/機械保全技能士/機械・プラント製図技能士



三次元測定機による立体モデル計測



非接触ひずみ測定(デジタル画像相関法)



射出成形加工



金型実習で成形した製品

メカトロニクス科の学び

メカトロニクス科では、1年次の機械システム系基礎科目により、ものづくりの基礎をデジタルエンジニアリング科と共に学習します。2年次前半にはメカトロニクス科履修科目によりロボットや自動化機器に関する専門知識と経験を養います。特に実習では、模擬的なFAラインをグループ課題とし、機械要素の選定や3次元CADを使用した設計、部品の機械加工、組立、プログラミング、動作検証を通してメカトロニクス技術を習得します。なお、過去には機械部品の自動搬送ロボットなどを製作しました。また、2年次後半からは卒業研究によって、さらに専門的な技術を深めていき、ものづくり企業で活躍できる実践技術者を目指します。

機械システム系共通科目		メカトロニクス科履修科目	
専門学科目 材料工学 パワーエレクトロニクス 材料力学 機械加工学 電気工学概論 機械運動学 数値制御 制御工学概論 機構学 油空圧機器 情報工学概論 機械設計I 工業力学 安全衛生工学 基礎製図 生産工学 機械設計II 産業技術論 産業人材育成論	実験実習科目 機械工学実験 プログラム言語 機械工作実習I シーケンス制御実習 機械工作実習II 基礎工学実験 設計製図実習 安全衛生作業法 CAD/CAE実習 セミナール 電気工学基礎実験 企業実習	専門学科目 制御工学 電子工学 計測工学 電子回路設計 コンピュータ工学 ロボット工学	卒業研究  ウェアラブルデバイス化した上着によるロボットのマスタスレーブ制御  3Dプリンタ(左)と卓上NCフライス盤(右)

【取得可能な資格】

【技能照査により学科試験免除になる資格】
機械加工技能士

【在学中に取得実績のある資格】

機械加工技能士(普通旋盤、フライス盤、マシニングセンタ) / 電子機器組立て技能士 / 電気機器組立て技能士 / 機械検査技能士 / 機械保全技能士(電気系保全作業)

機械システム系 メカトロニクス科

Mechatronics Course

SFの世界を実現するテクノロジーを学ぶ

私たちの身の回りにある製品の生産現場では、力やスピード、正確さについて人間の能力を上回るロボットや自動化機器が稼働しています。これを実現させるためにはモータのように電気エネルギーを運動エネルギーに変換するアクチュエータや、回転運動を複雑な動きに変換する機構、荷重や摩耗に耐えられる材料や形状、判別のためのセンサや画像認識、それらを合わせて制御するコンピュータやプログラム、安全で効率的な工程の立案など、様々な知識や経験が必要です。メカトロニクス科では機械工学や電気電子工学、制御工学、情報工学、安全工学、生産工学など、広範囲の分野に対する座学や実験、実習を通して、自動化機器を製作できる実践技術者を目指すことができます。



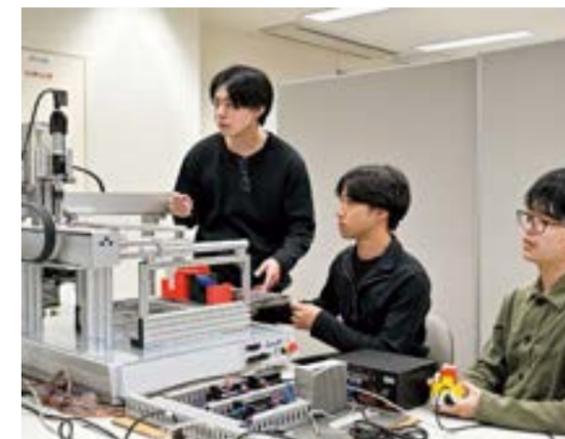
3次元CADを用いた自動化装置の設計



電子回路製作



シーケンス制御実習



卒業研究(手作業の自動化装置)

機械システム系 | 山形で活躍する卒業生



株式会社山本製作所
農機事業部
技術部農機グループ

飯田泰地 さん

山形工業高校 機械システム科出身

■デジタルエンジニアリング科
平成 27 年度卒業

やりたいことにチャレンジできたことは、大きな財産。

産技短は座学だけでなく実習も充実しており、在学中は高度な機械工学を学ぶことができました。先生や学生とのコミュニケーションが取りやすい環境で、やりたいことにチャレンジできる学校だと思います。基礎工学実験で、実験の進め方、考え方、データのまとめ方といった、順序立てて考えるプロセスを学べたことが非常に役立っています。産技短で学んだ加工の知識、経験は他の先輩技術者にも負けないと自負しています。得意分野である「加工」を軸に製造現場に寄り添った設計者を目指しています。



ミクロン精密株式会社
製造部
制御組立課

佐藤奏太 さん

山形工業高校 機械システム科出身

■メカトロニクス科
平成 31 年度卒業

産技短の強みは、仕事で活かせる幅広い知識と技術を学べることです。

高校では機械加工などを学びましたが、将来はロボットやAIなど電気系が主流になると考え、それらを幅広く学べると思い産技短に入学しました。在学中に取得した技能検定シーケンス制御3級は、大いに仕事に活かすことができました。現在ではシーケンス制御2級も取得しています。今の仕事のやりがいは、難しいと思っている仕事がかっちり完了できた時です。お客様から喜んでもらった時などは特にやりがいを感じます。これからはより難しい仕事が増えると思いますが、研鑽を欠かさず頑張っていきたいと思っています。

学生の声

「ものづくり」を楽しみながら学ぶ。

高橋恵介 さん 村山産業高校出身

デジタルエンジニアリング科に入学したきっかけは、高度な知識や技術を身に付けたいと考えたからです。1年次には工業に関する基礎を習得し、旋盤やフライス盤、マシニングセンタなどを用いた機械加工の実習をすることができます。実際に工作機械や材料に触れながら学習するので、楽しみながら学ぶことができます。また、技能検定などの資格取得のサポートも手厚く、先生方が検定練習の協力をしてくれます。「ものづくり」が好きな方には最適な学校であり、充実した毎日を過ごせると思います。



進学も視野に入れてロボット技術を学ぶ。

奥山悠 さん 山形工業高校出身

メカトロニクス科では機械加工から電気工学や制御工学までの幅広い分野を学ぶことができます。特に実習では過去に製作した自動化機器を分解し、3D-CADを用いて新たな装置を設計し、さらに機器を加工・組立し、動作させることで実践的な技術を身に付けることができます。私はここで学んだ技術や知識をさらに深めるため、東北職業能力開発大学校応用課程への進学を考えています。皆さんもロボットや自動機器に少しでも興味があれば、メカトロニクス科で技術を身につけませんか。

機械システム系：進路情報

[教員メッセージ]

新しい“もの”を

創れる技術者になろう!

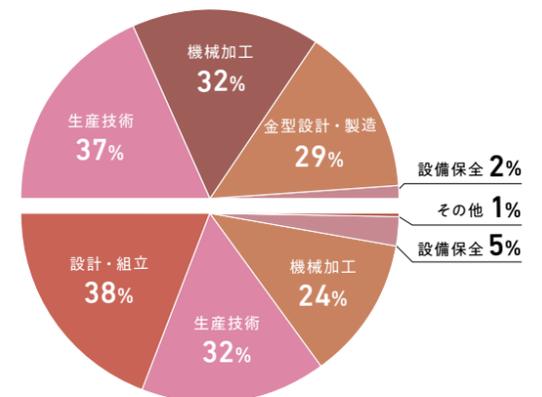
機械システム系2科は産業界で活躍できる技術者を育成するために、機械・電子・制御の技術を基礎として、ものづくりのための様々な専門分野の教育をしています。機械システム系で“世の中にない新しいもの”を形作ることのできる技術者を目指しましょう!



加藤和憲 教授
【専門】機械設計製図

[就職先の分野別比率]

デジタルエンジニアリング科



メカトロニクス科

[主な就職先・進学先]

デジタルエンジニアリング科

朝日金属工業株式会社
アリオントック株式会社
株式会社IBUKI
株式会社片桐製作所
株式会社カネト製作所
株式会社かわでん
啓装工業株式会社山形工場
株式会社山陽精機
シヤチハタエンジニアリング株式会社

株式会社鈴木製作所
住理工山形株式会社
株式会社デンソー FA 山形
株式会社ニフコ山形
フジクラ電装株式会社
ミドリオートレザー株式会社
山形航空電子株式会社
山形電子株式会社
株式会社山本製作所

メカトロニクス科

芦野工業株式会社
株式会社片桐製作所
株式会社かわでん
株式会社管製作所
ケミコンデバイス株式会社
サンリット工業株式会社
株式会社鈴木製作所
株式会社でん六
株式会社デンソー FA 山形

日産自動車株式会社
日本電子山形株式会社
株式会社ハイオス
ハイメカ株式会社
株式会社ハッピージャパン
ミクロン精密株式会社
山形航空電子株式会社
関東職業能力開発大学校(進学)
東北職業能力開発大学校(進学)



Intelligent Electronic Systems Course

知能電子システム科

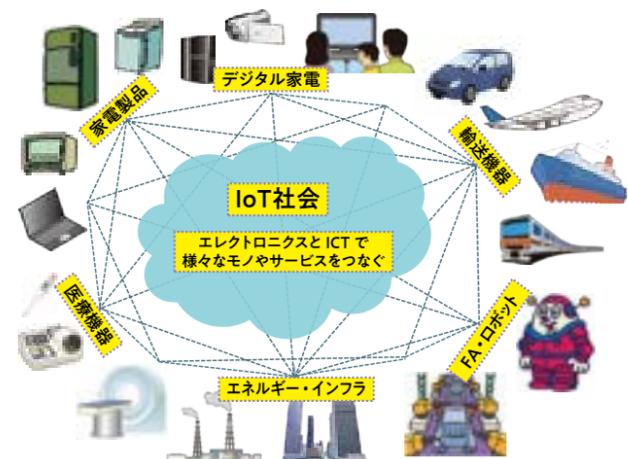
Intelligent Electronic Systems Course

IoT×AIで新しい社会を創る技術者へ

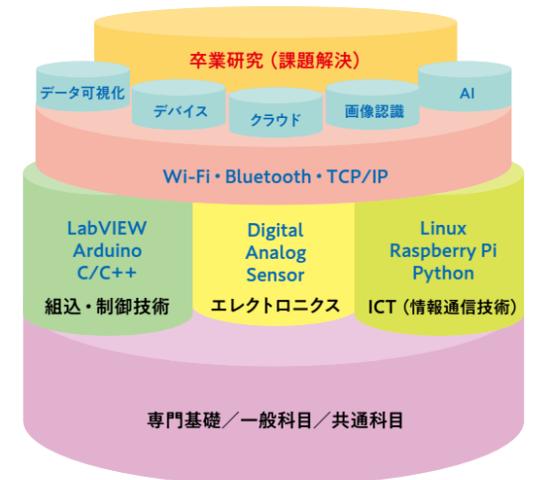
現代社会において、スマートフォンから家電・自動車に至るまで、様々なモノに超小型のコンピュータ（マイコン）が電子回路と共に組み込まれ、内蔵されたソフトウェアで高度な制御が行われ動作しています。これらがネットワークを介して結びついてより大きなシステムを構成し、そのシステム自体が人やモノの動きなどの状況を認識して自動的に様々なサービスを提供する仕組みがIoT（Internet of Things）です。このIoTの仕組みが社会の至るところに浸透して様々なサービスを提供する「IoT社会」がすぐそこまで来ています。知能電子システム科では、エレクトロニクス、組み込み・制御技術とICT（情報通信技術）を中心に学び、「IoT社会」の実現に貢献できる電子情報技術者の育成を目指します。

知能電子システム科の学び

知能電子システム科のカリキュラムでは「エレクトロニクス」、「組み込み・制御技術」、「ICT（情報通信技術）」の専門科目で講義と実習を通して基礎力を身に付け、PBL（プロジェクト形式学習）と卒業研究で実践的な課題に取り組むことで課題解決力を養成します。また、講義と実習を連携させ、「一般教養」を踏まえた上で、「基礎技術」「専門基礎」「応用技術」を学ぶ期間を経て、「総合開発技術」へと学期毎にステップを踏みながら学ぶことにより、初歩から少しずつ知識と能力を身に付けていけるようなカリキュラムになっています。



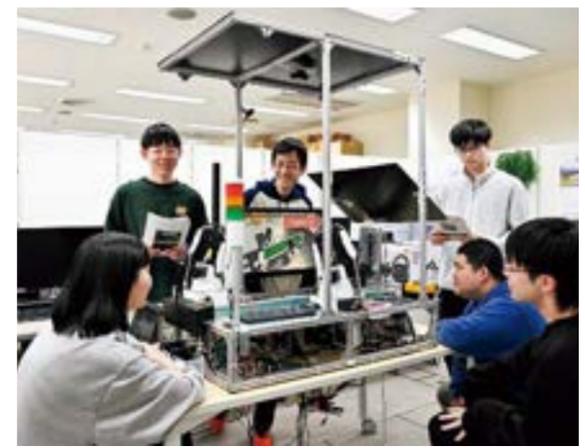
Copyright (c) 2010 - 2017 YCIT. All rights reserved.



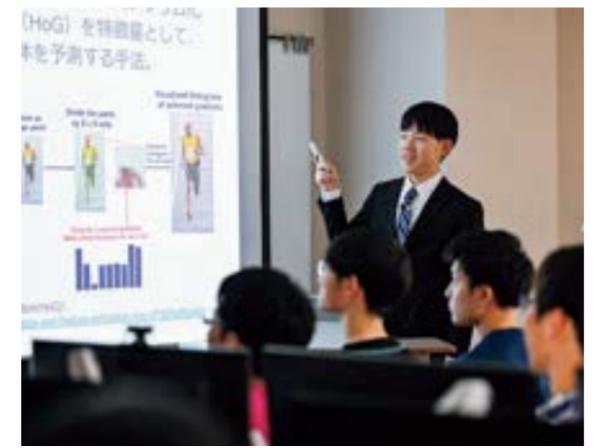
卒業研究風景 (AIによる骨格推定)



IoTシステムのプログラミング作業中



卒業研究風景 (サイバー空間とフィジカル空間の融合)



IoTプロジェクトの報告とレビュー

知能電子システム科 | 山形で活躍する卒業生



AGC ディスプレイガラス米沢株式会社
設備技術センター
IT グループ

齋藤洋樹 さん
米沢工業高校 電気情報類出身
■知能電子システム科
令和3年度卒業

π 型人材への第一歩。

現在 IT グループという部署で主に社内で使用するアプリ開発や DX に向けた工場内のセンシングによるデータ収集を行っています。そこではプログラミングはもちろんのことセンシング機器の開発（回路設計製作）、機器と社内ネットワークを接続するネットワーク設定等、大学で習ったほぼすべての要素が今の仕事に活かされています。今後の夢は、工場内設備の監視システムを作り上げること。技術者としては専門分野を複数極めた π 型人材になり、専門知識を活かして技術者同士の架け橋となる技術者を目指します。



株式会社タカハタ電子
物流システム事業部
技術開発 Gr

寒河江真実 さん
山形県立米沢東高校出身
■知能電子システム科
令和元年度卒業

幅広い分野を学ぶことで、未来が広がります。

進学先に迷っていた際に、企業への就職率が高いと知り産技短への入学を決めました。幅広い分野を学んだため将来にどう活かせるのか不安な面もありましたが、実際の現場でしっかり役立っています。当社では物流倉庫などで使用される仕分けシステムを販売しており、システムで使用する表示器も設計しています。携わった機器が現場で稼働している所を見るたびに、やりがいを感じています。今後は知識をより深め、活躍できるよう努めていきたいと思っています。

学生の声

私の原動力は“ワクワク”です。

中村颯馬 さん 山形工業高校 電気電子科出身

AI による自動運転が当たり前になるなんて、ワクワクしませんか？ 知能電子システム科は、そんなワクワクする未来を自ら創り出せる学科です。AI や IoT の技術・知識はもちろん、電気電子技術、組込み・制御技術、ICT（情報通信技術）と、幅の広い分野を基礎から学ぶことによって、広い視野で未来を見通すことができます。たとえ今、専門的な技術や知識がなくても、先端技術が創り出すこれからの未来にワクワクする気持ちがあれば、技術も知識も着実に自分の力にすることができます。ぜひ、知能電子システム科で学んでみませんか。



知能電子システム科：進路情報

[教員メッセージ]

IoT 社会を

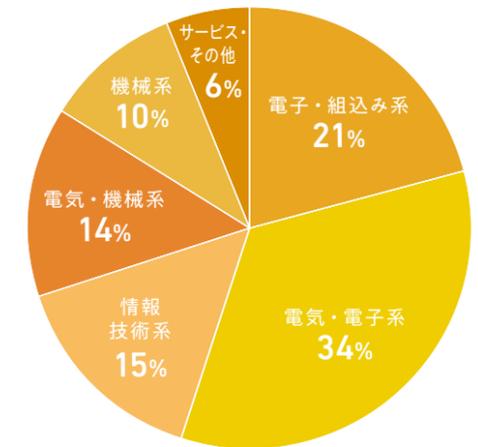
実現する技術者へ。

5G の登場で、パソコンやスマホだけでなく、あらゆるモノがインターネットにつながる IoT 社会はこれから急成長するでしょう。その IoT 社会を支える技術者になりませんか？



草刈徳之 講師
[専門] ソフトコンピューティング

[就職先の分野別比率]



[取得可能な資格]

組込みソフトウェア技術者クラス 2 (ETEC Class2) / デジタル技術検定 2 級 (制御部門、情報部門) / IT パスポート / 基本情報技術者 / 品質管理検定 / LabVIEW 準開発者 (CLAD) / IoT システム技術検定 / IoT 検定 / AWS クラウドプラクティショナー / 電子機器組立て技能士 (2 級・3 級) ※

※ 技能照査合格により学科試験免除になります。

[主な進学先]

関東職業能力開発大学校 東北職業能力開発大学校

[主な就職先]

AGC ディスプレイガラス米沢株式会社
株式会社 IBUKI
株式会社エクセルソフト
オブテックス工業株式会社
オリエンタルモーター株式会社 鶴岡中央事業所
加賀マイクロソリューション株式会社
株式会社かわでん
京セラ株式会社
クアーズテック株式会社 小国事業所
ケミコンデバイス株式会社
株式会社コア
株式会社コスモスウェブ
株式会社小森マシナリー
シャチハタエンジニアリング株式会社 山形工場
ソーニセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社
株式会社ソリトシステムズ
株式会社タカハタ電子
タムス・ファームウェア株式会社
株式会社チノー
TDK 庄内株式会社
テクノロイゾン株式会社
株式会社デンソー FA 山形
株式会社天童木工
東北電力株式会社

株式会社ニクニアサヒ
株式会社ニクニ白鷹
日本電子山形株式会社
バイオニアシステムテクノロジー株式会社
ハイメカ株式会社
株式会社ハッピージャパン
株式会社東根新電元
フジテック株式会社
富士電子株式会社
富士フィルム BI 山形株式会社
ミクロン精密株式会社
ミドリオートレーザ株式会社
ミネベアミツミ株式会社 山形事業所
山形航空電子株式会社
山形サンケン株式会社
株式会社山形新聞
山形電子株式会社
山形バナソニック株式会社
株式会社山形メイコー
株式会社山本製作所
凌和電子株式会社
和光電気通信工業株式会社
渡辺ヒーティング株式会社



情報システム科

Information Systems Course

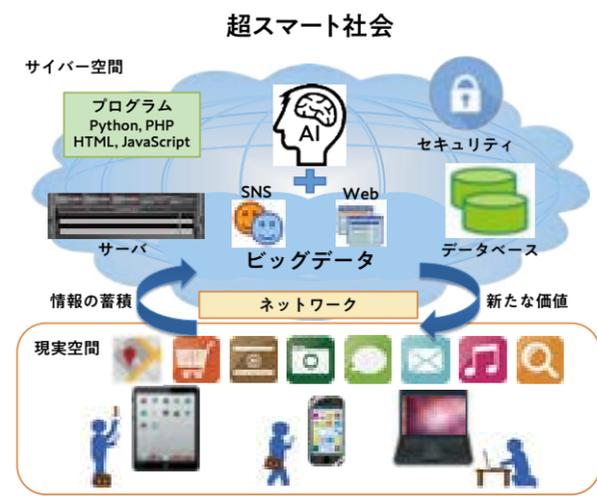
未来社会を支える情報技術者へ

現代社会では、スマートフォン、タブレット、PC、家電、ロボット、自動車など現実空間（フィジカル空間）にある多くのモノが情報通信技術（ICT技術）によってサイバー空間と呼ばれる仮想空間につながっています。これらサイバー空間に集まる膨大な情報をビッグデータという形で蓄積し、人工知能（AI）やソフトウェアを活用してデータ解析することで、新たな価値を創造することができます。このような仕組みにより、今までより便利で賢い社会（超スマート社会）が、近未来に誕生しようとしています。情報システム科では、超スマート社会を支えるために必要な情報システムの構築、ソフトウェア、ネットワーク、データ解析などの知識とスキル、情報システムを安全に活用するための情報セキュリティ技術を、体系的にしかも豊富な実習体験を通じて学んでいきます。また、グループワーク学習などを通してコミュニケーション能力を養い、近い将来高度ICT技術者となる高品質なシステム開発ができる実践人材の育成を目標としています。

Information Systems Course

情報システム科の学び

1年次は、e-Learningも活用しながら情報基礎の学習を進めると共に、専門技術について学びます。カリキュラムは国家資格である基本情報技術者試験の科目A試験免除制度が適用されていますので、初めて情報技術分野を学ぶ学生でも資格を取得することができます。2年次では、専門技術に加え、プロジェクト型課題（Project Based Learning）実習でチームによるシステム開発を行い、実践力とコミュニケーション能力を高めます。



カリキュラム構成図

卒業研究					
プロジェクト型課題実習					
デジタル活用	システム基盤の構築と管理			ソフトウェア開発	
データサイエンス AI	デジタルコンテンツ開発	情報通信システム基盤		プログラム言語	ソフトウェアテスト技法
	Linux/OS	データベース	ネットワーク	情報セキュリティ	
情報基礎					
基本情報技術者試験科目A試験免除認定					
工学基礎/ソフトスキル					
情報システムの企画・設計～開発・運用まで網羅					



プロジェクト型課題実習



アプリケーション開発



ネットワークシステム構築



デザインレビュー

情報システム科 | 山形で活躍する卒業生



株式会社 DNP デジタルソリューションズ
東日本システム本部
山形システム開発第 3 部

田宮聖宝 さん
山形中央高校 普通科出身

■情報システム科
平成 28 年度卒業

互いを高め合える仲間とともに過ごした充実の日々。

産技短では互いを高め合える仲間にも恵まれ、充実した日々を過ごしました。切磋琢磨しながら身に付けたシステム開発のスキルのおかげで、入社直後から即戦力として開発を行うことができました。中堅となった今では、プロジェクト型課題実習で培った“コミュニケーション力”や“気づく力”が私を支えてくれています。システム開発は一人では行えないものであり、周囲の機微に気づけることは仕事を円滑に進めるために、とても重要な力となります。大規模な案件に参画し、自ら開発に関わった製品が日常で使用されているのを見かけたとき、エンジニアとしての大きな達成感を感じます。



株式会社エム・エス・アイ
営業本部
カスタマーサポートグループインストラクター

あかり
柴田星 さん
山本学園高校 (現 雫山高校) 商業科情報処理コース出身

■情報システム科
平成 29 年度卒業

産技短での経験が、今の仕事の土台に。

自治体や一般企業などから業務改善の依頼を受け、解決に向けたシステムの構築や導入のご提案、操作指導からアフターまでをトータルにサポートするのが私の仕事です。産技短では、様々な角度から IT を学び、自分の強みを得ることができました。在学中に参加した「若年者ものづくり競技大会」では、同年代の学生と交流しながら、どんなことを学んでいるのかを知ることができたのも貴重な経験です。社会に出ると、自分の考えをクライアントにどう伝えるかが大切。人前でプレゼンテーションしたその時の経験が力になっています。

学生の声

成長し続けられる場所。

鏡野乃花 さん 上山明新館高校出身

私は普通科出身で、ほとんど情報系の知識がなく入学しました。工業高校、商業高校などの産業系高校出身者も多くいる中で授業や実習についていけるか不安でしたが、授業や実習では先生方が基礎から教えてくださるので、少しずつ知識や技術を身に付けることができました。また、授業内容は基礎から応用まで扱うので、セキュリティの分野やサーバ構築など高度な技術なども自身でできるようになりました。ほかにも、アプリケーション製作やネットワーク構築などをチームで行う実習があり、コミュニケーション能力や思考力を鍛えながら、学んだことを実践し、成長できる場が多くあります。皆さんも、情報システム科で知識と技術を伸ばしてみませんか。



情報システム科：進路情報

[教員メッセージ]

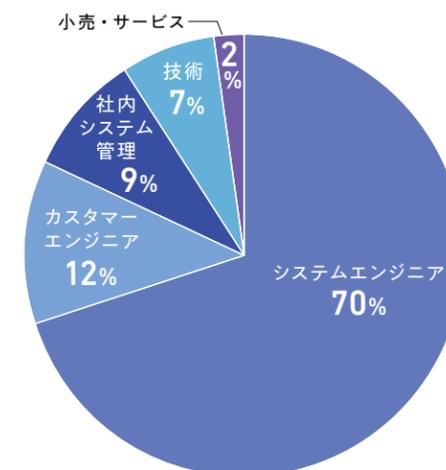
ICT で価値を創造する 技術者をめざす。

世の中の生活基盤を支える情報システムの開発や運用管理に必要な ICT (情報通信技術) の実践力を学び、価値あるソリューションを創造できる技術者を目指しましょう。



芝田浩 准教授
[専門] 情報工学、IoT、AI

[就職先の分野別比率]



[取得可能な資格]

- IT パスポート
- 情報セキュリティマネジメント
- 基本情報技術者 (科目 A 試験免除制度あり)
- 応用情報技術者
- 情報処理安全確保支援士 (旧情報セキュリティスペシャリスト)

※技能照査合格で技能士補となります

[関連資格]

- ネットワークスペシャリスト
- データベーススペシャリスト
- Cisco 技術者認定 CCNA (Cisco Certified Network Associate)
- Cisco 技術者認定 CCT (Cisco Certified Technician)
- Web デザイン技能検定 3 級・2 級
- G 検定 (ジェネラリスト検定)

[主な就職先]

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 株式会社アクティブクリエイト | 株式会社 DNP デジタルソリューションズ |
| 株式会社ウィルド | テクノ・マインド株式会社 |
| ASE ジャパン株式会社 | 東京コンピュータサービス株式会社 |
| A-Systems 株式会社 | 株式会社東北情報センター |
| ABC システム株式会社 | 株式会社トブコン山形 |
| エクシオ・システムマネジメント株式会社 | 株式会社日東ベスト |
| 株式会社エクセルソフト | 日本アバカス株式会社 |
| SES 株式会社 | 株式会社ハイテックシステム |
| NSW 株式会社 | 株式会社ハルシステム |
| エヌ・デューソフトウエア株式会社 | 株式会社ビッツ |
| 株式会社エム・エス・アイ | フジクラ電装株式会社 |
| 株式会社大風印刷 | 藤庄印刷株式会社 |
| オビサン株式会社 | 富士フイルム BI 山形株式会社 |
| 株式会社管理システム | 山形三菱自動車販売株式会社 |
| ケミコン山形株式会社 | 山銀システムサービス株式会社 |
| 国際通信企画株式会社 | 株式会社山本製作所 |
| 株式会社ジィ・シー企画 | リコージャパン株式会社 |
| 株式会社システムフォーサイト | 株式会社リョーサン |
| シャチハタエンジニアリング株式会社 | 株式会社 YCC 情報システム |
| 株式会社スベック・システム | 和光電機通信工業株式会社 |



建築環境システム科

Architectural Environmental Engineering Course

地球にやさしい建物をつくる技術者になる

住宅・建築物で使用するエネルギー消費が年々増加し、地球環境に大きな影響を与えています。住宅・建築物の省エネルギー化が大きな課題となる中で、エネルギー消費を抑えるための知識や技術を身に付け、地球にやさしい建物づくりができる技術者が求められています。

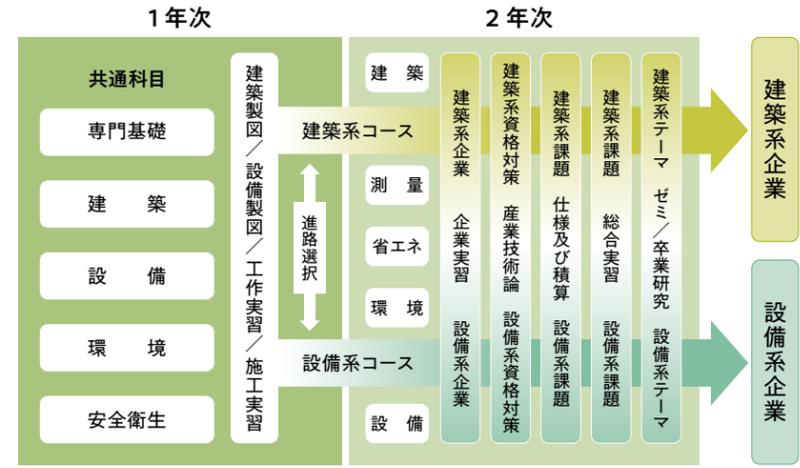
建築環境システム科では、建物の基本と空気・水・熱の調整技術及び環境負荷低減技術を学び、建築と建築設備（空調設備・給排水衛生設備・電気設備）の計画・設計・施工管理・メンテナンスができる実践技術者の育成を目指します。

Architectural Environmental Engineering Course

建築環境システム科の学び

建物のシステム全体をハード、ソフト両面についてバランスよく学べるカリキュラムになっており、実際に「見る、触れる、造る」実験や実習を多く取り入れています。さらに、建築業界で求められる感性を養うため、プロの建築家や建築技術者による講義を取り入れています。

1年次には、建築及び建築設備を学ぶ上で必要となる基礎知識を学び、徐々に専門科目の講義を受講していきます。2年次には、就職・進路希望に応じた「進路別コース選択制」を導入し、より専門的な知識を深めていきます。



住宅設計課題（学生作品）



建築製図・設備製図



3次元CAD実習（建築設計・設備設計）



環境工学実験



建築設備実験

建築環境システム科 | 山形で活躍する卒業生



株式会社ゆとり・祥建設
工務部

藤井花音 さん

新庄北高校 普通科出身

■建築環境システム科
令和2年度卒業

産技短入学の決め手になった就職率の高さ。

山形での就職を考えていたため、地元企業との繋がりが強く、学ぶのに最適な環境だと思い産技短を選びました。建築から設備まで幅広い内容を学ぶことができ、充実した学校生活を送ることができました。授業で学んだCADや測量技術、建築設備などは仕事で大いに役に立っています。仕事でのやりがいは建物が完成し、お客様から感謝の言葉をいただいた時の達成感です。今後は現場での経験を活かしながら、機会があれば設計にも携わっていくことが目標です。



黒澤建設工業株式会社
仙台工事部

高橋滉平 さん

山形工業高校 建築システム科出身

■建築環境システム科
平成28年度卒業

仕事の現場で役立つ、実践的な産技短の「学び」。

私は現在、工事現場の施工管理をしています。産技短で学んだことが大いに活かされています。在学中に学んだCADは、会社で扱っているソフトが違っても大まかな操作方法が一緒なので早く対応でき、工事現場で飛び交う専門用語についても、講義で聞いていた内容と共通していたので、仕事環境にも馴染みやすかったです。担当する現場によって日々変わる工程や作業の調整、図面の作成が大変ですが、そこにやりがいを感じています。建物が完成した時の喜びと達成感はとても大きいです。これからもお客様のニーズに応えられるよう日々努力していきます。

学生の声

様々な実習を通して建築を学ぶことができます。

阿部大梓 さん 寒河江工業高校 機械科出身

私は小さいころからのものづくりが好きだったため、高校では機械科に入学しました。ものづくりについて学んでいくうちに、建築物など今後残っていくものに携わりたいと思い、建築環境システム科に入学しました。高校で学んできたことは違う内容だったため、授業についていけない不安もありましたが、友達と教え合いながら勉強できたため、今では不安もなく勉強に取り組んでいます。また、足場組立や測量などの実習もあるため、より実践的な学習を受けることができます。さらに、体育祭や産技短祭などの行事もありクラス全員で協力して楽しく学校生活を送っています。



建築環境システム科：進路情報

[教員メッセージ]

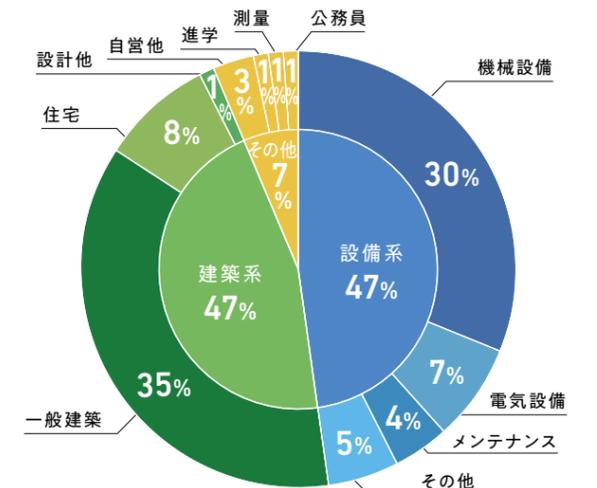
かたちに残る、
一生の職業を見つけよう！

建物やその設備は社会の中で人々を守り、快適に暮らすために欠かせないものです。本学科は建物の外側（意匠や構造）と内側（建築設備）を学ぶ事ができる全国でも珍しい学科です。両方の技術を学び、身につけて、社会に貢献できる建築技術者を目指してみませんか？



押切剛伸 教授
[専門] 建築環境工学、環境衛生工学

[就職先の分野別比率] (過去5年)



[取得可能な資格]

1級・2級施工管理技士(建築・管工事・電気・土木)^{※1}
 一級建築士^{※2}、二級建築士^{※3}、木造建築士^{※3}
 建築配管作業技能士(1級・2級)^{※4}
 冷凍空気調和機器施工作業技能士^{※4}

※1 指定学科の認定を受けています
 ※2 受験に必要な実務経験0年、免許登録に必要な実務経験4年の指定科目の確認を受けています
 ※3 受験及び免許登録に必要な実務経験0年の指定科目の確認を受けています
 ※4 技能照査合格により学科試験免除になります

[関連資格]

電気工事士(第一種・第二種) / 第三種電気主任技術者 / エネルギー管理士 / 建築設備士 / 消防設備士 / インテリアコーディネーター / 福祉住環境コーディネーター / シックハウス診断士 / 住環境測定士 / 環境計量士 / 公害防止管理者 / 気密測定技能者 / 宅地建物取引士

[主な就職先]

愛和建设株式会社
 株式会社市村工務店
 大泉建設株式会社
 太田建設株式会社
 小野建設株式会社
 株式会社カスタムエージェンツ
 株式会社菊池技建
 株式会社クリエイト礼文
 黒澤建設工業株式会社
 株式会社弘栄システムエンジニア
 弘栄設備工業株式会社
 三建設工業株式会社
 株式会社三晃空調
 株式会社ゆとり・祥建設
 株式会社新庄・鈴木・柴田組
 株式会社千歳建設

第一設備工業株式会社
 東北電化工業株式会社
 株式会社西原衛生工業所
 株式会社日設
 日本地下水開発株式会社
 日本ビルコン株式会社
 沼田建設株式会社
 布施建設株式会社
 前田製管株式会社
 株式会社松村組
 株式会社山形環境エンジニアリング
 株式会社山形企業
 山形建設株式会社
 株式会社ユアテック
 株式会社冷凍技術工業所



Civil Engineering Course

土木エンジニアリング科の学び

土木エンジニアリング科のカリキュラムは1年次には、土木工学の基礎知識や技術を学び、2年次には、就職・進路希望に応じた少人数教育制(ゼミ)を導入し、より専門的な知識を深めていきます。また、実践的技術を身に付けるため、多様な専門分野の指導者からの講義も取り入れます。基礎技術の修得を確実にするとともに、3D-CAD や UAV (ドローン) などを活用した施工管理、測量技術などを実践的に学び、ICT に強い土木技術者を育成します。

一般教育科目	専門学科目	実践実習科目
産業人としての教養 現代コミュニケーション、英語など	土木技術関係諸分野の基礎知識 構造力学、土質力学、道路工学、河川工学など 材料試験I・II・III	
	土木施工管理の基礎及び実践 土木施工管理、土木技術者論など 施工管理実習、ICT 実習など	
専門学科目の前提知識 数学、物理など	測量・設計の基礎及び実践 測量学、土木設計、土木積算など 測量実習、土木 CAD 製図など	
	地域課題及び最新技術 やまがたの地理と地質、インフラメンテナンス学など	実践経験及び課題解決演習 企業実習、現場研修、卒業研究など

土木エンジニアリング科

Civil Engineering Course

「ふるさと」と「人々の暮らし」を支える土木技術者になる

「土木」は、英語で“Civil Engineering” と言い、市民生活を支え、発展させるための技術です。具体的には、道路や橋、ダムや港、公園など、私たちのくらしや経済活動を支える社会資本(インフラ)を整備し、守っていく仕事を意味します。また、土木の仕事は交通ネットワーク整備による産業や観光の振興、美しい街並みや景観の形成、洪水などの災害防止や早期の復旧、冬期間の除雪など、私たちの安全、便利、そして豊かな毎日の暮らしを支える必要不可欠な仕事です。今日、建設業界では日々技術が進化し、柔軟に適應できる人材が必要となっています。そのため、土木エンジニアリング科においては施工管理、測量を実践的に学ぶとともに、3D-CAD や UAV (ドローン) に代表される新技術の活用に関する教育も行っています。土木に関する専門知識と技術の修得を通じて幅広い思考力・問題解決能力を備えた技術者の育成を目指します。



3D モデルの作成 (土木 CAD 製図)



土の一軸圧縮試験 (材料試験)



コンクリート中性化試験 (インフラメンテナンス)



UAV による測量 (ICT 実習)

土木エンジニアリング科 | 山形で活躍する卒業生



株式会社金沢総合コンサルタンツ
測量調査課

佐藤悠介 さん

山形工業高校 環境システム科出身

■土木エンジニアリング科
令和2年度卒業

産技短での経験が、大いに役立っています。

私は高校で土木について学び、さらに専門的な技術や知識を身につけたいと思い産技短に入学しました。学校では施工管理実習や測量実習等で技術的なことを学ぶことができます他、資格取得にも力を入れているので先生方からサポートしていただけます。現在測量課で仕事をしていますが、実習で身につけた技術が現場での作業で生きてくること、学校で学んだ知識が実際の業務を通して理解できたことなど、産技短での二年間が自分の力になっていることを実感しました。今後は様々な資格取得に挑戦し、地域に貢献できる技術者になれるように努力します。



山形建設株式会社
土木部

立里柚 さん

山形城北高校 普通科出身

■土木エンジニアリング科
令和2年度卒業

誇りを持って働ける仕事。

父の仕事やテレビ番組の影響で小さい頃から建設業に興味があり、将来は建設業に関わる仕事をしたいと考えていました。県内に専門的なことを学べる学校があると聞き、産技短に入学しました。産技短は実践的な学習を沢山行っています。資格取得のための授業だけではなく、現場に出てから必要になることなど沢山の知識を学ぶことができました。それらは実際の現場で活かされています。建設業においては、女性という立場でまだまだ大変なこともありますが、自分の理想像に少しでも近づけるように日々頑張っていきたいと思っています。

学生の声

地元で貢献できる技術者を目指して。

八嶽宗一郎 さん 創学園高校 やまがた創造工学科出身

私は地元の暮らしを支える土木技術者になりたいと思い、産技短に入学しました。小さい頃から建設関係の仕事に憧れを持ち、高校から土木について学んできました。産技短では高校と比べより専門的な知識と技術を学ぶことができます。少人数クラスということもあり、先生方も一人一人丁寧に教えてくださり、安心して講義を受けることができます。また、座学だけではなく実際の現場を想定した測量実習や施工管理実習なども行い、実務に直結する技術を学ぶことができます。あなたも人々の暮らしを支え、社会基盤を造る土木技術者を私たちと一緒に目指してみませんか。



土木エンジニアリング科：進路情報

[教員メッセージ]

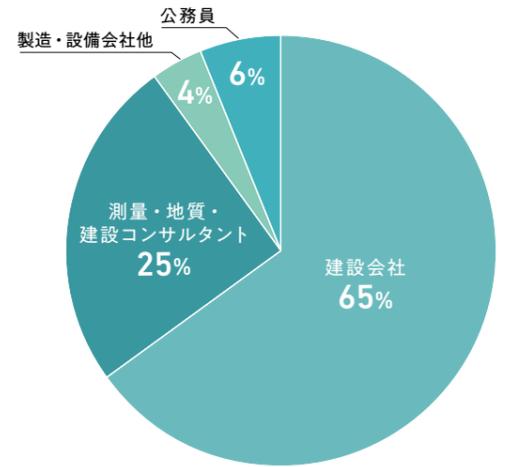
誰かの当たり前を
守る仕事

近年多発する自然災害（地震・水害等）。Civil Engineering は市民のための工学。社会に最低限必要な社会資本整備（道路・鉄道・上下水道・橋・トンネル・ダム・発電所など）は人々の生活の一つとして欠かすことが出来ません。土木技術者が不足している昨今。これらを守っていくには皆さんの若い力が必要不可欠です。一緒に山形県を守りましょう!!



ほなむ 増佳彦 准教授
[専門] 土木施工管理・鉄道土木

[就職先の分野別比率]



[取得可能な資格]

1級・2級土木施工管理技士（補）〔他に管工事・造園・建築・電気工事・建設機械施工取得可〕^{※1}
測量士（補）、小型車両系建設機械

^{※1} 指定学科の認定を受けています

技術士（補）／舗装施工管理技術者／舗装診断士／道路橋点検士／コンクリート（主任）技士／コンクリート診断士など

【資格合格実績】 ※2018年～2023年

- ・2級土木施工管理技士補 100%（6年連続）
- ・2級造園施工管理技士補 91.5%（6年平均）
- ・2級建築施工管理技士補 8名（2023年）100%
- ・2級管工事施工管理技士補
- ・測量士補

1級土木施工管理技士補対策開講（2023年～）

[主な就職先]

〈建設会社〉
石川建設産業株式会社
羽陽建設株式会社
大井建設株式会社
太田建設株式会社
株式会社柿崎工務所
金子建設工業株式会社
河西建設株式会社
株式会社黒田組
株式会社小松組
小松建設株式会社
株式会社佐藤工務
株式会社三和
志田建設株式会社
渋谷建設株式会社
東海林建設株式会社
那須建設株式会社
沼田建設株式会社
福田道路株式会社
升川建設株式会社
山形建設株式会社
株式会社山源建設
日本地下水開発株式会社

〈製造・設備会社〉
東栄コンクリート工業株式会社
山形中央生コンクリート協同組合

〈建設コンサルタント〉
株式会社朝日測量事務所
株式会社克技術設計
株式会社金沢総合コンサルタンツ
株式会社新東京ジオ・システム
新和設計株式会社
株式会社高田地研
株式会社田村測量設計事務所
株式会社山形用地補償研究所
株式会社横山測量設計事務所

〈公務員〉
気象庁仙台管区気象台
国土交通省 東北地方整備局
山形県
山形市
酒田市

各自の課題に応じたカリキュラムによる人材教育を行う産業技術短大の上部課程 産業技術専攻科

Industrial Engineering Advanced Course



横倉さん 他 現在、株式会社山本製作所勤務。在職したまま専攻科でデザイン思考に基づく現場改善に必要なスキルを習得し、生産性向上（高付加価値化と効率化）に取り組んでいます。この他、IoT 機器の開発、産業用ロボットの活用、新たな価値向上戦略の検討を行う様々な社会人が各自の目的に合わせたカリキュラムで他の機関と連携しながらリスクリングに取り組んでいます。

現場の課題を本気で 解決しながら人材育成を行う専攻科

今、我々は技術や社会の大きな変革期の中にいます。ものづくりのあり方もIoTやロボットの活用など大きく変わりつつあり、モノづくりだけでなく、コトづくりにも目を向けなければならなくなっています。これまで以上の生産性向上（効率化と高付加価値化）の実現には、技術スキルだけでなく、コミュニケーション力やマネジメント能力などのノンテクニカルスキルをアップデートし続けることが求められています。また、これまでの経験と異なる新分野への挑戦も必要になっています。短大課程の修了生や社会人を対象とした産業技術専攻科は、産業界からの要望である「ものづくり改善コース」と「課題対応コース」の二つから構成されています。どちらのコースも各自の目的や課題に応じたカリキュラム編成を行うユニークな教育を特徴としています。

【コース編成】

【ものづくり改善コース】

実際の現場の管理や改善を通して、生産管理や生産改善を進めるために必要な知識やスキルを修得します。現場作業員から管理者まで様々な方が入学し、修了後は現場改善のリーダー、工場長、経営者となって活躍しています。カリキュラムの一部は夕方実施する公開講座で代替されており、また、工業技術センターや様々な地域の他大学と情報交換を行っています。修了後も持続的に様々な人と交流ができます。

（取組事例）

- ・3S、標準化による工数把握に基づく生産計画の立案と進捗管理
- ・段取り改善や仕掛り数の管理による効率化と不良率低減

【課題対応コース】

本校専門課程で教育を行っている機械・電子・組込み技術・情報・建築・設備・土木などの中から、各自の課題に応じて、より高度な技術スキルを持った人材を育成します。特にIoT技術の修得を希望する社会人が増えています。

（取組事例）

- ・農業IoTソリューションの開発・工場のIoT化に伴う人材育成
- ・新入社員の技術教育（電子・ソフトウェア技術）
- ・中堅リーダー教育（IoT技術をベースに課題解決及びマネジメント）

【主な入学生】

【社会人】
株式会社カネト製作所、京浜パネル工業株式会社、タムス・ファームウエア株式会社、パイオニアシステムテクノロジー株式会社、山形バナソニック株式会社、黒川プレス工業株式会社、日東ベスト株式会社、株式会社山本製作所など

【学卒者】

城西国際大学、鶴岡高専、日本大学、山形産業技術短大など

【主な就職先】

エンベテッドソリューション株式会社、テクノモリオカ株式会社、株式会社マイスター、フェローテック・アリオン株式会社など

課題解決型の魅力的な育成カリキュラム

犬飼 勝文 さん （令和4年度修了）

日東ベスト株式会社
生産技術部



最近では、DXの潮流がますます盛んになっています。食品業界の弊社においても、この流れに遅れることなく、自動化による生産性向上に取り組んでおり、「協働ロボットを活用した新たな生産設備」や「デジタル化によるデータ収集と活用」などについて専攻科にて、具体的に学ぶことが出来ました。現在は、協働ロボットを活用した自動箱詰め機構の実現を目指し、産業技術短期大学校にもご支援いただき、プロジェクトを推進しています。さらに、IoT技術の生産現場への導入により、社内で収集したデータの可視化と活用を進めており、改善活動の活性化やペーパーレス化などに繋がっています。さらに、専攻科で学んだ知識や技術をベースに、CADを使用した製図や設備配置の検討などの新たなスキルを習得しながら、日々の業務に取り組んでいます。

修了後も連携を継続する専攻科

後藤 太輝 さん （令和2年度修了）

京浜パネル工業株式会社



専攻科では、年齢・性別にとられない誰でも働ける労働環境づくりのため、自社開発改善ツールによる現場改善とそのツール開発ができる生産技術スキルの修得を目標としました。在学中、会社業務と両立しながら現場分析の作業員の意見に基づき改善ツールの考案・実用化に取組みました。修了後も短大と連携し、評価・改良を継続的に行い、特許出願も行いました。開発したツールは現場で活用されており、それを使用する作業員からは「身体の負担が減って楽になった」との言葉があり、専攻科での学びが役立っていることを実感しています。



Campus Calendar [年間スケジュール]

仲間たちと、キャンパスライフをエンジョイ！



SANGITAN OPEN CAMPUS 2024

7.28sun & 10.13sun

【当日は山形駅から本校まで 無料シャトルバスを運行します。】

夏のオープンキャンパスは、講義や実習をキャンパス内で体験！
秋のオープンキャンパスは産技短祭と同時開催！

※本校ホームページより事前申込みいただけます。

